



新潟地本で 新たな仲間が加入!



東日本ユニオンで共に
働きやすい環境を実現しよう!

各統括センターに設置された各ユニットの成果と課題を質しました。支社側は各ユニットについて、統括センター発足時点で100%の発足ではなく、順次移管される中で進めているとして、まだ全てを担えていないため順次、担っていただけるように支社として連携していくとしました。

また、スケジューリングに遅れているものは今のところではなく、業務融合もシッカリと計画を立てて行って、お客さまからの不都合や日々の鉄道オペレーションにおける問題はないとの認識を示しました。

各統括センターにおける融合と連携について進捗状況を質しました。支社側は、複数勤務や乗務員による職業業務など柔軟な働き方を実現して、花火・フジロック・新幹線ホームでの案内など昨年にはない融合を

米坂線運休による 業務量減少に伴う 体制の変更を提案

村上保線技術センターにおける体制の見直しについて

新潟地本は10月3日に団体交渉を行い、新潟支社より「村上保線技術センターにおける体制の見直しについて」の提案を受けました。

米坂線の運転見合わせにより業務量の減少が当面継続することから、12月1日より村上保線技術センターの体制を見直し、一

各統括センターに設置された各ユニットの成果と課題を質しました。支社側は各ユニットについて、統括センター発足時点で100%の発足ではなく、順次移管される中で進めているとして、まだ全てを担えていないため順次、担っていただけるように支社として連携していくとしました。

また、スケジューリングに遅れているものは今のところではなく、業務融合もシッカリと計画を立てて行って、お客さまからの不都合や日々の鉄道オペレーションにおける問題はないとの認識を示しました。

各統括センターにおける融合と連携について進捗状況を質しました。支社側は、複数勤務や乗務員による職業業務など柔軟な働き方を実現して、花火・フジロック・新幹線ホームでの案内など昨年にはない融合を

窓口の混雑は問題なく対応できている

「話せる指定席券売機」導入の成果を質すと支社側は、コロナなど感染症の心配がないことを挙げ、対面販売も一定のニーズがあるものの販売体制の変化に着実に向かっている

新潟地本は10月3日に団体交渉を行い、新潟支社より「村上保線技術センターにおける体制の見直しについて」の提案を受けました。

米坂線の運転見合わせにより業務量の減少が当面継続することから、12月1日より村上保線技術センターの体制を見直し、一

申2号 団体交渉

統括センター化・各ユニットの発足 課題や問題はないとの認識を示す

新潟地本は9月19日、申2号・新潟支社における各統括センターの検証及び営業職場の職場環境に関する申し入れの団体交渉を行いました。

また、発足してから複数駅を勤務できる社員が多数できたことで、一つのセンターとして、働き甲斐や業務領域の部分では確実に拡大しているとの考えを示しました。

「話せる指定席券売機」導入の成果を質すと支社側は、コロナなど感染症の心配がないことを挙げ、対面販売も一定のニーズがあるものの販売体制の変化に着実に向かっている

窓口の混雑は問題なく対応できている

「話せる指定席券売機」導入の成果を質すと支社側は、コロナなど感染症の心配がないことを挙げ、対面販売も一定のニーズがあるものの販売体制の変化に着実に向かっている

新潟地本は10月3日に団体交渉を行い、新潟支社より「村上保線技術センターにおける体制の見直しについて」の提案を受けました。

米坂線の運転見合わせにより業務量の減少が当面継続することから、12月1日より村上保線技術センターの体制を見直し、一

